

9月1日は『防災の日』



(財)消防科学総合センター
<http://www.isad.or.jp/>

「防災の日」は、1923年（大正12年）9月1日に発生した関東大震災を教訓に定められた日です。
大きな災害時には市や県、消防署などの行政機関の「公助」だけでは限界があります。自分の身は自分で守る「自助」、地域や近隣の人たちと互いに協力し合いながら助け合う「共助」が非常に重要となってきました。
地震や台風などの災害はいつどこで発生するかわかりません。この機会に普段から災害を想定して「今、この場所で地震が発生したら、どのように行動するか」を意識し、家族や近隣に住む人と「ミニミニケ」シートを取るようにしましょう。

災害に対する 備えは万全ですか？

① 家の中・家の外の 安全対策

- 家の中の安全対策
 - ・ 家具や電化製品などの転倒や落下防止を施しましょう。
 - ・ 安全に避難できるように通路や出入り口に荷物を置かないようにしましょう。
 - ・ 消火器や住宅用火災警報器を設置して、火災に備えましょう。
- 家の外の安全対策
 - ・ 屋根瓦やブロック塀などにひび割れやずれなどがないか点検しましょう。
 - ・ ベランダに置いた植木鉢などが強風で飛ばされたり、地震で落ちないよう配置しましょう。
 - ・ アンテナやプロパンガスのボンベは、しっかりと固定しましょう。

② 日ごろからの訓練

- ・ 日ごろから家族で避難所までのルートや、災害が起こった場合の行動を確認しておきましょう。
- ・ 自主防災組織や自治会などで防災訓練を実施し、地域や近隣の方とコミュニケーションを取るようにしましょう。

【自主防災組織を 結成しましょう】

大きな災害が発生したときには、地域や近隣の人たちと互いに協力しながら、防災活動に組織的に取り組むことが必要です。

自主防災組織は、いざ災害が起こったときに「自分たちのまちは自分たちで守る」という地域住民の自衛意識と連帯感に基づいて、区会、自治会単位で自主的に活動していただく組織です。

市では、自主防災組織の結成を促進しておりますので、ご相談などについては消防防災係までご連絡ください。

